

	内容	罰則	責任者
1	演技時間違反 — 第 502 条 超過または不足した 5 秒ごとに	—1.0	レフェリー
2	違反要素／動作 — 第 709 条、第 710 条第 3 項 違反要素／動作ごと ・リフト中の違反動作/姿勢(第 704 条 第 16 項) ・1 回転を超えるジャンプ(またはスロージャンプ)または両パートナーが同時に行う 1 回転のジャンプ ・氷上に横たわる	—2.0	テクニカルパネル** どの要素においてもその実行中に違反動作があった場合違反動作の減点が適用されかつその要素がレベル1の要件を満たしていればレベル 1 とされる。レベル1の要件を満たしていない場合はノーレベルとコールされる。
3	衣装／小道具違反 — 第 501 条第 1 項、ISU コミュニケーション第 1860 号 注:小道具違反はダンスリフトにおいて衣装の一部をリフトの支持に使用することを含み、この場合レフェリーとジャッジにより減点が適応され、テクニカルパネルはそのリフトに対して満たした要件のレベルを与える	プログラムごと —1.0	レフェリー+ジャッジ*
4	衣装の一部／装飾品の氷上落下 — 第 502 条第 2 項	プログラムごと —1.0	レフェリー
5	転倒 ・氷上に両膝をつくことや両膝をついて滑ること又は氷上に座ることは許されず、テクニカルパネルによって転倒とみなされる。(第 709 条、第 710 条第 1 項k) ・転倒とは、スケーターがコントロールを失い、その結果体重の過半が身体ブレード以外の部分、例えば片手または両手、片膝または両膝、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態と定義される。(第 503 条第 1 項)	パートナーの一方の転倒ごとに —1.0 両パートナーの転倒ごとに —2.0	テクニカルパネル**
6	演技開始の遅れ — 第 350 条第 2 項 — 1 秒から 30 秒遅れて開始した場合	—1.0	レフェリー
7	10 秒を超える 演技実施中の中断 中断とはスケーターがプログラムの演技を中止した瞬間からプログラムの演技を再開した瞬間までに経過した時間と定義される。(第 503 条第 2 項)	10 秒を超え 20 秒まで —1.0 20 秒を超え 30 秒まで —2.0 30 秒を超え 40 秒まで —3.0	レフェリー 中断が 40 秒を超えた場合、レフェリーによって合図が発せられそのカップルは棄権となる。
8	中断地点から再滑走することが許された場合の演技の中断 — 第 515 条第 3 項 b)	—5.0	レフェリー 中断が始まり 40 秒以内にパートナーの一方がレフリーに申告しない場合あるいは与えられた追加の 3 分間以内にカップルが演技を再開できない場合はそのカップルは棄権となる
9	振付制限違反 ・ショート・ダンス:第 709 条第 1 項 d)パターン、g)セパレーション、h)ストップ、i)氷上に手をつく ・フリー・ダンス:第 710 条第 1 項 f)セパレーション、h)ストップ、i)氷上に手をつく	プログラムごとに —1.0	レフェリー+ジャッジ*
10	余分な要素 — 余分な要素ごとに行う ショート・ダンスの要件に従っていない要素、またはフリー・ダンスのウェルバランスに従っていない要素	余分な要素ごとに —1.0 要素は無価値	コンピュータが要素の削除と減点を行う。 TC は要素の削除と減点を認定あるいは訂正する
11	音楽要件 ショート・ダンス:第 709 条第 1 項 c) (i)および(ii)、フリー・ダンス:第 710 条第 1 項 c)	プログラムごとに —2.0	レフェリー+ジャッジ*
12	テンゴ規定 — ショート・ダンス:第 709 条第 1 項 c) (iii)	プログラムごとに —1.0	レフェリー
13	許された時間を超えたリフト — 6 秒(ショート)、10 秒(コレオ)、12 秒(ロング)超過したリフトごとに	リフトごとに —1.0	レフェリー
*レフェリー+ジャッジ:全ジャッジとレフェリーを含むパネルの多数意見により減点を適用する。意見が 50:50 に割れた際は減点されない。スクリーン上のボタンを押すことで減点を適用する。			
**テクニカルパネル:TS が特定し、TC が認定或いは訂正減点する。ただし TC の訂正に両 TS が賛同しない場合は TS と ATS による決定が維持される。			